

マスコット投票通信

Vol.2

熊本県 熊本市立 長嶺小学校

学校紹介

熊本市立長嶺（ながみね）小学校の5年2組（児童数32人）で、1月19日（金）にマスコット投票を行いました。

長嶺小学校は、平成3年創立の学校で、平成29年度は児童数1,009人、38学級、教職員61人です。当地域は交通の利便性がよく、民間のマンション建設や宅地開発により、現在も人口増加が続いています。

長嶺小学校は、運動部活動が盛んで、バレーボール部は夏に全国大会に出場し、バスケットボール部も今年の3月に全国大会に出場するなど、多くの子どもたちが、さまざまな大会で素晴らしい結果を残しています。また、運動場では、たくさん子どもたちが元気よく遊んでいます。

学校のキーワードは「“たい”が跳ねる」です。子どもが通い“たい”学校を目指し、活力ある子どもを育てています。

授業の流れ

授業に向けて、オリンピック・パラリンピックの歴史や日本人の活躍などを学んだりプレゼンを準備しました。

導入15分 オリンピック・パラリンピックについて知っていることや日本人の活躍、オリンピック・パラリンピックの価値、マスコットの効果について学びました。本時のゴールである学級で1つのマスコット案を決めることを伝えました。

展開25分 マスコット案を見ながら、各マスコットの特徴やよさについて考えを出し合い、各グループが推薦するマスコットについて理由を述べながら発表し、それぞれの意見を共有しました。その後、1人ずつ1票を投じました。グループの意見とは違うマスコットに自分の票を投じる子どもや悩みに悩んで投票する子どももいました。

まとめ10分 最後に担任が読み上げながら開票しました。開票する担任の声に子どもたちは歓声を上げていました。票が多かった「ウ」に決まると、大歓声が湧きました。マスコット投票について振り返り、他の学級や学年の結果も知りたくてたまらない様子でした。

投票の様子



グループで選んだマスコットを理由を添えて紹介



最後に1人1票を投票しました。

児童からの感想

- ・マスコット投票をして、オリンピック・パラリンピックへの興味・関心が高まりました。
- ・どのマスコット案もよいところがあってとても迷いました。最終結果でどのマスコットに決まるのかとても楽しみです。
- ・オリンピック・パラリンピックについてもっと調べてみようと思います。

先生方からの感想

東京2020オリンピック・パラリンピックについて、子どもたちが新しい競技や活躍する選手について知っていることが多かったことに驚きました。これからいろいろな教科等の学習でオリンピック・パラリンピックと関連付けて学習をし、子どもたちの興味・関心をさらに高めたいです。マスコット投票は子どもたちの興味関心を高めるはじめの一歩になりました。

マスコット投票時に活用した教材等

スポーツ庁指導参考資料・東京2020組織委員会から提供された素材